

住民が満足できる屋内温水プールを目指して

「PFI方式による温水プールの整備・運営について」を確認

7月9日埼玉県川越市

川越市では、清掃センターから発生する余熱活用の温水利用型健康運動施設について、施設整備の経過を確認しました。

公園整備（なぐわし公園）と合わせ、温水施設の基本計画を策定後、PFI導入可能性調査や民間事業者に求める要求水準書の公表などを経て、落札者決定、引き渡しとなっており、設計・建設期間は1年10か月、施設の基本計画策定後から引き渡しまでは3年7か月となっています。

事業方式は、駅から遠く利便性の悪い立地のため、事業者が参加しやすいBTO方式を採用し、国庫補助金も活用しています。

1階には、受付、会議室、

50畳の畳休憩室と食堂、多目的ホール（体育館）、防備蓄庫、6レーン25mの温水プール。

2階は、トレーニング室、スタジオ、温浴施設があり、温浴施設には白湯、水風呂、寝湯、露天風呂など種類も豊富です。

指定管理期間を長期とし、事業者が計画的に事業展開

できていること、民間ノウハウを活用して、各施設でさまざまなメニューが用意されていること、また、広いエントランスにテーブルなどを設置して、誰でも気軽に訪問できる雰囲気をつくり、隣接の公園整備を進める中で、広い休憩室の効果もあり、利用拡大が予測される施設でした。



■研修風景

PFI…公共施設などの建設、維持管理、運営などを民間の資金、経営能力および技術的能力を活用して行う新しい方法です。

BTO…民間事業者が施設などを建設し、施設完成直後に公共施設などの管理者などに所有権を移転し、民間事業者が維持・管理および運営を行う事業方式です。



■小学校の水泳授業

「学校の水泳授業における市営温水プールの活用について」を確認

7月10日茨城県古河市

古河市では、小中学校プールの老朽化により、市内の温水プールを活用した水泳授業の方法を研修しました。

維持管理費や指定管理の方法など具体的な数値の提示も受け、必要経費や指定管理者と行政・教育委員会の

連携などについて聞き取りを行いました。

水泳授業への利用料金減免や水泳指導員のサポート、施設の一般利用者との共同利用など、施策を進める上での留意事項も確認できました。

当町でも今後、屋内温水プール建設に向け、より具体的な内容を研究していく上で、大変参考となる調査を行うことができました。